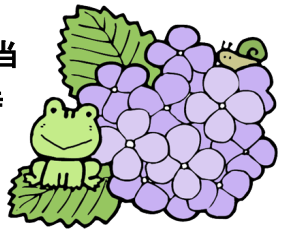
ひらがな 通信

倉吉市教育委員会学校教育課
２０１５．６．１１
ＮＯ．１



紫陽花の花に雨が当たり、きらきら輝いています。

今年度「発達障がいの可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業」を担当します、倉吉市教育委員会学校教育課 石橋良江です。１年生担任の先生はじめ特別支援教育担当の先生方には大変お世話になります。
よろしくお願いいたします。
「読みのアセスメントＭＩＭ」を毎月実施していただき、それを集計した結果や感じたこと、具体的な支援に関する情報をお届けしたいと考えております。各学校・学級での話し合いの材料に使っていただければ幸いです。

１年生の先生方におかれましては、運動会やプール開き・学校公開・参観日等行事が続きお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。そんな中で第１回のアセスメントを実施していただき、ありがとうございました。

◎クラスごとにデータを入力し、学校代表のメールに結果をお届けしておりますのでご覧ください。お問い合わせ等ございましたら、石橋までご連絡ください。

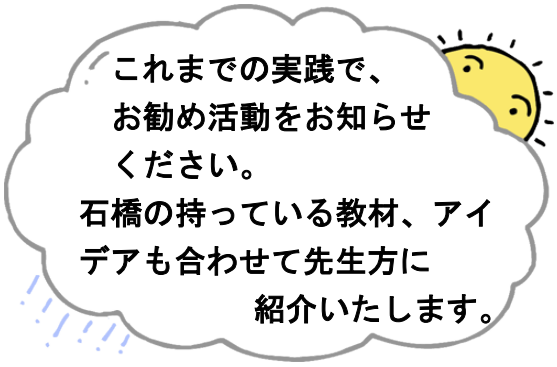
◎検査用紙は封筒でお返ししております。

「よみ」のポイントは・・・

（１）「読む」ことが好きな児童を増やしましょう

・検査の得点が低い児童だけでなく、黄色マーカー児童の中にも「よむことが、すきではない」「よむことが、とくいではない」と答えている児童が少なくありませんでした。
入学してわずか２カ月で「苦手」意識を持つと、今後学習への意欲はなかなか高まりません。
そこで、ドリルタイムや隙間時間、朝読書タイム等を工夫し、「文字」への親しみをアップしたいものです。そのためにはゲーム感覚で文字に触れることが大切だと思います。

・絵カードと文字カード、単語カード等カードを利用する。
・聞き取りゲーム　（視覚とつなげる）
・ことば遊びをする
　ことば集め、ことばつなぎ、しりとり、クイズ、ひらがなビンゴ、一斉カルタ等
・読み聞かせ　→　短文や詩の音読、早口ことば
・拗音バスケット



（２）「ことば」の数を増やしましょう

・２枚目の「３つのことばをみつけよう」が苦手な児童が多かったです。「パッと見てわかることば」が増えると、サッサッサと線が引け、「やった」感もアップすると思います。
文字指導をする際には単語で読めるようにしていくと効果的です。

絵と単語、文字をセットにし、音読、なぞり書き、穴埋め、ドットと関連付ける、聴写等いろいろな方法でことばを増やしましょう。

（３）音読時は文字を指で押さえましょう

・教科書を持って読むことの難しい児童が多数いると思われます。
文字を指で押さえ、文字を意識して音読する方法も取り入れてはどうでしょう。

（４）検査のルール確認をしましょう

・問題の取り組み方の違っている児童が予想以上に多かったです。
これから毎月検査を行いますので、示されている方法で取り組むことが大切です。
そこで、同じ検査用紙ではなく（問題数が多すぎます）、「MIM」セットにもある、「絵に合うことばさがし」「３つのことばさがし」のプリントを使って学習してはどうでしょう。
「よみ」のドリルをしながら検査のルールも身につくと思います。ご活用ください。

◎筆圧のある、丁寧な文字の書ける児童が多いです

・先生方が丁寧に文字指導をなさっていることがうかがわれました。大人が見習いたい、きれいな文字で記名してあり、プリントをめくっていて気持ちがよかったです。

◎検査後のチェック、ありがとうございました

・全児童のプリントをチェックしてからデータ入力をしますが、担任の先生のチェックと一致しているとホッとします。また、一致しないときには再度見直すことができ、ありがたいです。　お手数をかけましたが、安心してデータ入力できました。

◎お忙しい時期に、名簿作成、検査をしていただき　ありがとうございました。

次回の検査でのお願い

（１）プリントはバラで封筒に入れてください

・ＮＯ１とＮＯ２のプリントをそれぞれにまとめてくださっている学校がありましたが、一人一人の合計点を記入したり、入力する際に児童名を確認したりしますので、１名ずつ２枚組にしたいと思います。
ご提出時、ホッチキス等で止めずに封筒に入れていただくとありがたいです。

（２）欠席児童について

・欠席児童が少ない日に検査をしていただき、ありがとうございました。
しかし、全員そろわないこともありますので、欠席児童名をメモでお知らせください。

（３）個別の配慮計画

・６月・７月の検査結果から、「個別の配慮計画」もできます。
夏休みには、少人数での学習方法等について学校ごとに巡回訪問させていただきます。日程調整について検査後にメールをお届けしたします。

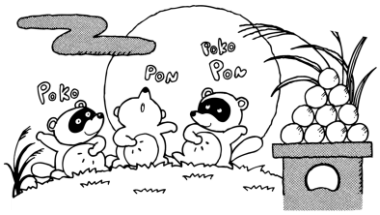
「ひらがな指導」の教材、指導方法、一人一人への配慮等についてのお問い合わせは、下記まで。
倉吉市教育委員会学校教育課　発達障がい支援アドバイザー　石橋良江
TEL　22-8166　　FAX　22-1638
メール　ishibashiy@city.kurayoshi.lg.jp

ひらがな 通信

倉吉市教育委員会学校教育課
２０１５．９．１７
NO. ３

２学期が始まり半月が経ちました。子ども達は新しいグループや係活動にも慣れ、活発な学校生活を送っていることと思います。

始業式直後にもかかわらず各学校で「第３回ＭＩＭ－ＰＭ」の実施、大変お世話になりました。それぞれの学校に集計結果をお届けしましたので、ご確認ください。なお、「個別の配慮計画」は１０月に新しい計画ができております。各校・学級でご活用ください。



今回の検査から気づいたことをお知らせいたします。

◎「読む力」アップ

テスト①・②とも得点がアップしました。その結果（倉吉市平均）は右の通りです。丸つけをしていても、たくさん丸を書くことができ、楽しかったです。

	第２回（７月）	第３回（９月）
１st ステージ	27.9%	34.1%
２nd ステージ	22.3%	26.0%
３rd ステージ	48.8%	39.9%

先生方のご指導の成果、充実した夏休み、落ち着いた２学期の始業であったと感じました。

◎「単語として読む」（視覚的にとらえる）力に課題

テスト①の１字１字確認して正しく読む力は伸びてきました。慣れれば、さらにたくさん読めるようになると思います。一方、テスト②の、単語を視覚的にとらえ、サッと単語ごとに区切る力はもっと伸ばしたいと思います。

今回、テスト①の１番「たたみ」を知らず「たたむ」を選択したり、テスト②の１番「あし／たみつ／ぬま」と回答したりしている児童が少なくありませんでした。「みつ」を知らなかったのではないでしょうか？「はちみつ」なら正しく答えられたのではないかと思います。児童の手もなかなか進まなかったのではないでしょうか？その結果テスト②の得点が低くなった児童もいたのではないかと思います。

「単語を知らない」ことが大きいと思います。語彙を増やし、視覚的に単語として理解する力を伸ばすことが課題です。

◎力の差が拡大

得点が大きく伸びてきた児童、４０～５０点という高得点に達している児童がいる一方、合計得点が５点以下の児童もいます。「読むことが苦手」と答えている児童の中に、得点が伸び悩んでいる児童がいます。早めの支援策を講じることが大切です。

少人数指導・個別指導は、担任の先生だけでは難しいこともあると思います。学年主任・特別支援教育主任の先生方と相談し、支援体制がとれるといいですね。ドリルタイムだけ、級外の先生方の協力を得て、細やかな指導をしておられる学校もあります。

☆新作!!　指導教材

８月２１日（金）の「第２回ＭＩＭ指導者研修会」で内田先生が紹介してくださった教材をいくつか作成しました。

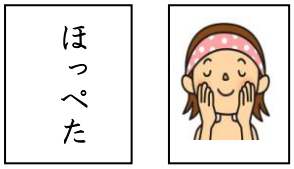
◎拗音バスケット

首からかけるカードと、単語絵カードを作成しました。まだ１セットしかありませんが、貸し出します。

◎拗音カルタ

１学級でできるセットを作りました。こちらも貸し出せます。

◎促音絵カード



夏休み中にお届けしたＣＤの中には入れられませんでしたが、促音を含む単語の絵カードを作りました。
データのお届けはできます。ご入り用の先生、お知らせください。

◎出前授業

「拗音バスケットや拗音カルタを授業の中でやってみたい」とおっしゃる先生、道具を持って石橋が出かけ、授業のお手伝いをします。声をかけてください。

お願い

◎第４回ＭＩＭ－ＰＭは１０月９日（金）が締め切りです。

・４回目もルールの確認をして検査に取り組んでください。

・「ＭＩＭ－ＰＭ」のＰ（Proguress）は「伸び」、Ｍ（Monitoring）は「見る」という意味だそうです。子ども達の伸びをしっかり見とり、子どもたち自身の自信につなげたいと思います。「ＭＩＭ－ＰＭ」の願いをしっかり受け止めましょう。

◎教材、指導のアイディア募集

・子ども達が力を伸ばし、「読むことが好き」と思えるようになって欲しいものです。各クラスで多様な実践をしておられると思います。そのアイディアをぜひお知らせください。効果的な教材や指導方法は他校でも取り入れると楽しさや自信が広がります。

手紙を紹介します。

先日のＭＩＭの研修会では大変勉強になることばかりで、１年生の授業、音読に取り入れさせていただいております。すると・・・児童の読みの成長が見られ、「よみめいじん」も伸びているように思います。

嬉しいお便り、ありがとうございました。

「ひらがな指導」の教材、指導方法、出前授業、一人一人への配慮等についてのお問い合わせは、下記まで。

倉吉市教育委員会学校教育課　発達障がい支援アドバイザー　石橋良江
TEL　22-8166　　FAX　22-1638
メール　ishibashiy@city.kurayoshi.lg.jp

ひらがな 通信

倉吉市教育委員会学校教育課
２０１５．１２．１５
NO．６

大人も待ち遠しいクリスマスを楽しみに、２学期のまとめを進めていらっしゃることでしょう。遅かった紅葉の落葉や山の木々も楽しみながら元気にお過ごしください。

今月は締め切りが早く「ＭＩＭ－ＰＭ」の実施も大変だったと思います。それにもかかわらず締め切りを守って提出していただき、ありがとうございました。

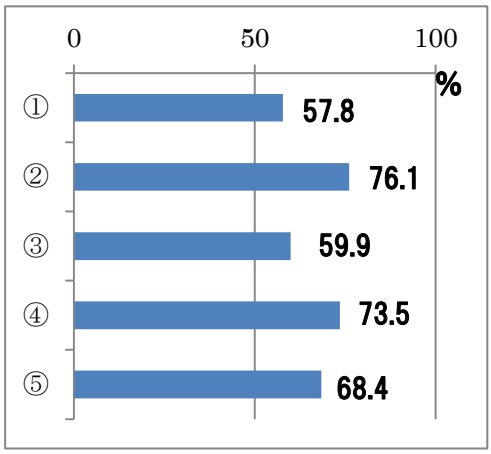
今月の検査から気づいたことは

◎意欲大幅アップ！！

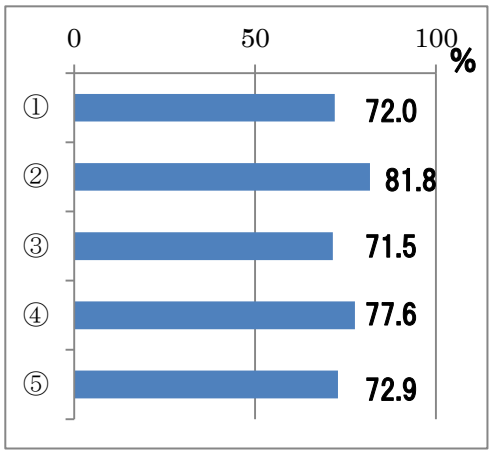
毎回アンケートに◎をしながら、５つの項目すべてに否定的な答えを選んでいる児童への支援、声のかけ方を考えますが、今回は、５つ全てに否定的だった児童が大変少なかったです。逆に、クラス全員が「楽しかった」「この前と比べて、得意になった」「読むことが、好き」と答えている所もありました。毎日の声かけ、指導の仕方を教わりたいです。

市内全体のアンケート結果は

①問題は、
　難しくなかった。
②問題は、
　楽しかった。
③この前と比べて、
　得意になった。
④読むことが、
　好き。
⑤読むことが、
　得意。



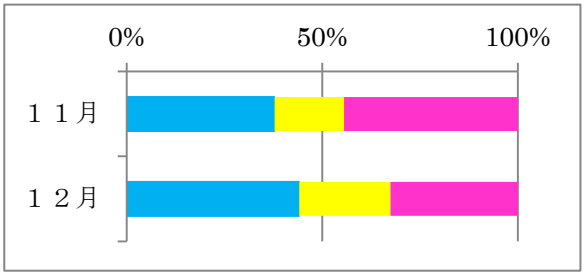
11月



12月

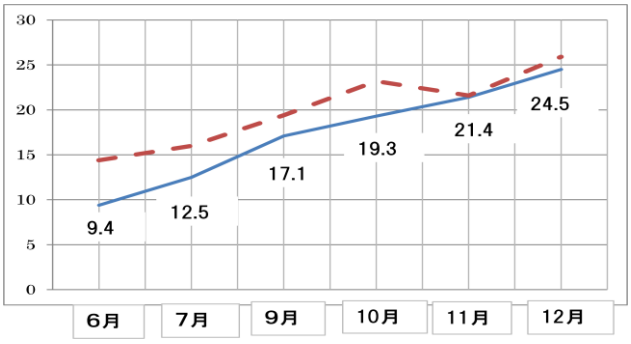
☆　③「この前と比べて、得意になった」が１１．６％増えています。人数にすると、５０人です。「１１月より、たくさん読めた」と実感できたのでしょう。

☆　④⑤から、「カタカナも学習し、文字や文章をスラスラ読め、書いてある内容がよく分かるようになった」と感じている児童が増えていると推測できます。「読むことが好き・得意」と感じることが力を伸ばす最も大切な要素です。



◎平均得点もアップ！！

１１月は、テスト①②とも、１問目の問題で時間を取り、得点が低くなったのではないかと考えられました。今回は全体によく知っている単語が多く、解答できた数が多かったです。上位児童だけでなく、下位でも得点の伸びた児童が多かったです。



毎月お届けしているデータの中に、クラスの平均得点が出ています。そのクラスごとの平均点から倉吉の平均点を出してみました。正しい全児童の平均点ではありませんが、左グラフは全国平均点（－－－－－－－　）と倉吉平均点（――――――　）です。毎月得点が伸びています。先生方と子ども達の頑張りが現れています。

◎わたしのたわし

テスト①の第１問は、「わたし」を選ぶ問題ですが、「たわし」が予想以上に多かったです。視覚的にサッと選んでしまったのではないでしょうか？

１５番は「ちかてつ」を選ぶ問題ですが、「地下鉄」を知らなかったのではないでしょうか。無記入の児童が少なくありませんでした。

長音問題では、「おおかみ」は指導されたことが定着していましたが、「ぶどお」「すもお」の誤りがありました。

あした　　石津ちひろ

あしたの　あたしは　　あたらしい　あたし
あたしらしい　あたし

あたしの　あしたは　　あたらしい　あした
あたしらしい　あした

楽しい詩

◎視覚的にとらえ、次の言葉を見落としてしまった

テスト②の１番。「きもの/あなた/たたみ」と分ける問題を「きもの/あな/たたたみ」に。６番は「きゅうり/きょうそう/ひょう」と分ける問題ですが、「きゅうり/きょう/そうひょう」の誤りが多かったです。「穴」「今日」で安心したのでしょうか？「たたたみ？？？」「そうひょう？？？」と考えて欲しかったですね。急いで次の問題に進んだのかもしれません。

◎カタカナの解答が増加

着々とカタカナ指導が進み、これまで飛ばしていた児童も読めるようになってきました。カタカナの問題もしっかり考えていました。

◎先生方からの声

今月も先生方からありがたい声をいただきました。その中の一つが右です。プリントを見ていてもよく分かります。たくさん問題を解いていく子、斜線も丁寧に引く子、じっくり読んでいるだろうなと思われる子。先生方は一人一人の個性に応じて声をかけてあげてください。ただ、「なかなか読み進められない子」への指導には手を尽くしたいと思います。

スピードアップを目指して頑張る子、とっても慎重でどうも進まない子、まだまだ読めない子に分かれてきている今日この頃です。

冬休みの課題に・・・・

「読字」の苦手な子には、家族と一緒に『楽しく』『楽に』できる課題を出したいですね。言葉と触れる時間を増やすことをメインにした課題も宿題に加えてみてください。

◎家族との読み聞かせ
◎早口ことば
◎しりとり遊び
◎カルタ取り
◎漫画・写真日記　等

そうじしました。ぞうきんがけしました。ほこりがいっぱいでした。きれいになりました。ほめてもらいました。いいきもち。

そうじ・じてんしゃ・しゃこ・こども・もみじ・じしゃく・くつ

◇第３回ＭＩＭ研修会

貴重な冬休みにもかかわらず、たくさんの参加希望をいただき、ありがとうございます。

３学期の指導のアイデアの他

◎効果的な指導事例・教材
◎毎月「ＭＩＭ－ＰＭ」に取り組んだ感想
◎ひらがなの定着、読字・音読、文章読解の力について

についてのご意見をください。
先生方の実践、感想が一番役立つと思います。

「ひらがな指導」の教材、指導方法、出前授業、一人一人への配慮等についてのお問い合わせは、下記まで。

倉吉市教育委員会学校教育課　発達障がい支援アドバイザー　石橋良江
TEL　22-8166　　FAX　22-1638
メール　ishibashiy@city.kurayoshi.lg.jp

めざせ よみめいじん

倉吉市教育委員会学校教育課
２０１５．９．１
ＮＯ．１

２学期が始まり、お子さん達は日に焼けた元気な姿で登校しておられることでしょう。朝晩はめっきり涼しくなりました。、日中も雨天が続きそうです。しっかり体調管理をし、はつらつと過ごせるようよろしくお願いします。

さて、皆さんのお子さんは　字を読むことが好きですか？
１年生の１学期に、ひらがなを１文字１文字読んだり書いたりする学習を積み上げ、夏休みには自分で絵日記をかくまでに上達しました。ひらがなを読んだり書いたりすることはこれからずっと続く学習や活動に必要です。しっかり力をつけて欲しいと考えます。
そこで、今年度倉吉市では市内全小学校１年生に「MIM―PM」という「読む力を確認し、分かりやすい指導を工夫する」教材を使い、毎月上旬に検査を行って指導に役立ています。

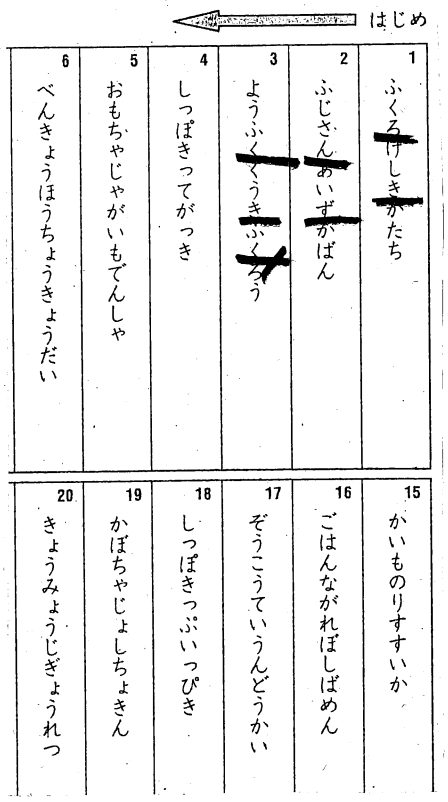
検査は・・・・

テスト①

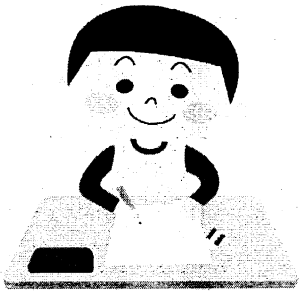
正しく書いてある言葉を選びましょう。

テスト②

三つの言葉に分けましょう。



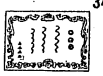
○検査時間は、それぞれ１分間です。短時間で検査は終了します。
ところが問題数はたくさんあり、大人でも最後までなかなかたどりつきません。どうしてそんなにたくさんの問題数があるのでしょうか？それは、早く進む子も終わらないようにするためです。検査中に「できた！」という声がすると、頑張っている最中の子はガックリすることもあります。さらに、毎月できる数がだんだん増えることを実感でき、意欲を高めることもねらっているためです。



テスト①では・・・

○文字を正しく読む、正しく認識する力を確認します。

７月に学習した「小さく書く字」を含む単語の問題もあります。

35	34	33	32	31	30	29
						
ヘコリプター	しょうじょう	しんじょ	いぶん	せんぶき	ざいがに	こった
ヘリコプター	ひょうじょう	しんじゅ	いっぷん	せんぷうき	さりかに	こたっ
ヘリコープタ	しょうじょ	しんじゅ	いぶっん	せんぷうき	ざりがに	こたし

テスト②では・・・

○単語のまとまりをサッと読みとる力を確認します。

単語をまとまりで読み取れれば、文章をスラスラ読めるようになり、書いてある内容の理解も深まります。こちらにも小さく書く字が含まれる単語もあり、難しい問題に挑戦しています。

35	34	33	32	31	30	29
ホットケーキロケットジャングル	ひょうたんちゅうがくせいけんきゅう	じゅんばんおうじょおたまじゃくし	おっとせいなっとうねっしん	ぞうきんふうとうてんとうむし	すずめみつばちがいこく	りすくすりはかせ

「MIM－PM」とは、

◎教師が一人一人の理解度を把握し、分かりやすい授業、指導方法を工夫する。

◎児童一人一人の伸びを見る。

ために考案された検査・指導パッケージです。お子さん達と楽しみながら学習を進め、ひらがなやカタカナを読む力を伸ばしていこうと担任一同頑張っています。

「文字を読む力を伸ばす」ためには・・・

◎「聞く力」が必要です。

・文字と音とを結びつける力が育っているから文字が読めるようになります。会話を聞いていて言葉を知っているから並んでいる言葉から単語を考えることができます。「しっかり聞こうとする力」を育てましょう。

◎「話す力」も必要です。

・文字を声に出して読むためには話す力が必要です。おしゃべり大好きな子どもは言葉数も増えます。優しい、心温まる会話をして言葉を育てましょう。

こんな力を土台にして文字を読む力は伸びていきます。ご家庭での普段の生活が学力にもつながります。ご家族の皆様のご協力も大きな力です。「読書、人との関わり大好き」な子どもを育てましょう。

「MIM－PM」「ひらがな指導」等についてのお問い合わせは、下記まで。
倉吉市教育委員会学校教育課　発達障がい支援アドバイザー　石橋良江
TEL　22-8166　　FAX　22-1638

めざせ よみめいじん

倉吉市教育委員会学校教育課
２０１５．１２．１８
（保護者様）　　ＮＯ．２

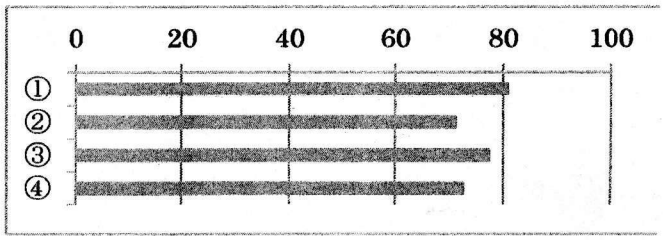
あっという間に２学期の終業式を迎えます。今学期も保護者の皆様には各方面でご協力いただきありがとうございました。

冬休みを迎え、ご家族で大掃除や楽しい計画を立てるなど、夢が膨らんでいることでしょう。

さて、９月１日に「倉吉市内の１年生は、読む力を確認し、分かりやすい指導を工夫するために『ＭＩＭ－ＰＭ』という検査をします」とお伝えしました。お子さんが持ち帰られた練習プリントを見て、ご理解を深めてくださった保護者の皆様の話を聞き、「頑張らねば」という気持ちを強くして取り組んでまいりました。

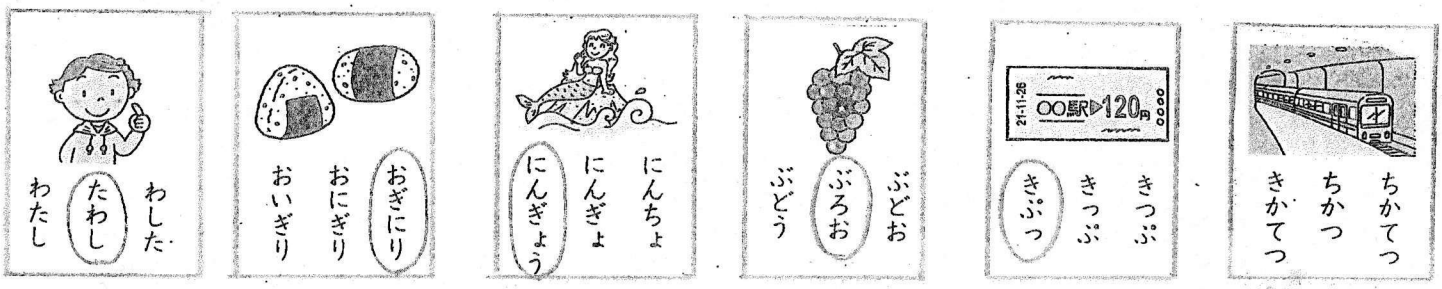
毎月上旬に検査をしていますが、１２月の検査では

①「よみめいじんは楽しい」　81.8%
②「前回より読むことが得意になった」　71.5%
③「読むことが好き」　73.5%
④「読むことが得意」　72.9%



と、意欲的な姿が見られました。何より嬉しい姿です。

また、「文字を正しく読む力」「単語のまとまりを素早く読み取る力」も伸びてきています。が、まだこんな誤りも見られます。

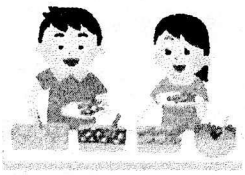


（無答多）

☆パッと見て「わたし」と「たわし」、「おにぎり」と「おぎにり」を間違えてしまう。
☆「にんぎょ」なのか「にんぎょう」なのか迷ったんではないでしょうか。でも誤答数は多かったです。
☆「ぶどう」を「ぶろう」。普段の発音をこのように聞いているお子さんもおられると思います。
☆「きっぷ」なのか「きぷっ」なのか迷いますね。小さく書く文字の指導は３学期も続けたいと考えています。
☆「地下鉄」を知らない児童がいると思われます。無答数が思いのほか多かったです。

◎「三つに分けることば」では
「うんどうじょう/にゅうがく/じゅう」と分けるところを「うんどう/じょうにゅう/がくじゅう」、「きもの/あなた/たたみ」が「きもの/あな/たたたみ」になっていました。
☆「運動場」ではなく「運動」で区切ったり、「あなた」ではなく「穴」で区切ってしまったんですね。語彙を増やすことが色々な分け方に対応できる力につながります。

◎可愛い解答を紹介します。
「テレビ/アルバム/ハイキング」の問題が「テレビ/アルバム/バイキング」になっていました。わざわざ「``」をつけて「バイキング」にしてありました。
「バイキング」が好きなんですね。



そこで、家族や親せき・友達と接することが多い冬休み、お手伝いやお年始を楽しむことと合わせ、「団らん」を充実させ、おしゃべり、言葉の力も伸ばしてみませんか。

言葉遊び

年末・年始、日中は忙しいですが、夜は家族そろってノンビリできる方も多いときだと思います。こどもの「言葉の力」を伸ばすには最適です。

＜家族で読み聞かせタイム＞

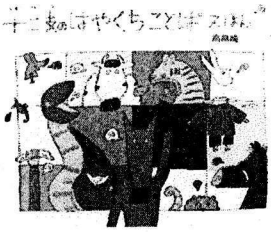
子ども達は「耳から聞いて」言葉を覚えます。その言葉も**「優しく心地よい声」**で聞くと、心にしみ込みます。物語の中でいろんな話をしながら言葉を増やしましょう。読み聞かせの効用は

①家族と一緒に素敵な時間を共有した満足感
②自分が可愛がられている自己肯定感
③話を聞こうとする気持ち、集中力
④「この本を読んでもらおう」という意欲

心を育てる　ことが最も大切です。

さらにオマケとして

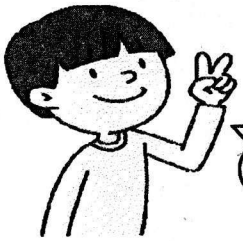
⑤言葉や文字を覚える
⑥興味・関心が広がる　　という知的面の向上も期待できます。



年末・年始向けの絵本です。
この他にもたくさんありますね。

冬休み開け、担任の先生に「我が家のお薦め本」が話せるといいですね。

＜スリーヒントクイズ＞



手軽にできる言葉遊びは「しりとり」や「なぞなぞ」です。それに「スリーヒントクイズ」も加えてみませんか？やり方は簡単です。

４本足の動物です。

２つめは・・・とっても大きい

３つめは・・・鼻が長い。な～んだ。

子どもが問題を出しても、大人が出しても楽しいですね。３つのヒントで答えが分からなかったらヒントを加えればいいのです。簡単に答えが分かるヒントなら「ヒントの出し方上手！！」、答えが分からないヒントなら「難しい問題が考えられたね」と褒めると、さらにクイズが続きます。

＜連想しりとり＞

いつものしりとりも少し難易度をアップさせると・・・・。

クリスマスはケーキ

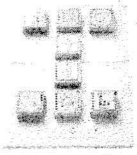
ケーキはおいしい

おいしいはステーキ

関係する言葉をつないでいくのはとても難しいことですが、それだけ言葉を考えなければなりません。急がず、楽しく、子どもの言葉を褒めながら続けてみましょう。

家族でおしゃべりしながらできるボードゲームやカルタ・すごろく・トランプ等も楽しめますね。

簡単にできる将棋もありますが、おじいちゃん方と本格的な将棋をさすのもいいですね。思い出がたくさんできる冬休みをお過ごしください。



「MIM―PM」「ひらがな指導」等についてのお問い合わせは、下記まで。
倉吉市教育委員会学校教育課　発達障がい支援アドバイザー　石橋良江
TEL　22-8166　　FAX　22-1638